

ここまで来たか！最新！痛〇〇の文化！
『痛車ならぬ!?痛バルーン展 ～ダイオオグソクムシ・ウェディング～』開催！
～なぜしぼむバルーンにお金を払うのか～



ニッチな（痛い）モチーフや2次元キャラクターを大衆的なコンテンツであるバルーンで制作する、「痛バルーンアーティストもも」。初の個展となる『痛車ならぬ!?痛バルーン展～ダイオウグソクムシ・ウェディング～』を、2015年6月12日（金）～14日（日）、大阪府立江ノ子島文化芸術創造センターにて開催いたします。（マスコミ・企業向け内覧会を11日（木）に開催）。展覧会では、ニッチな層に根強い人気のダイオオグソクムシをモチーフに、風船で作られた巨大ダイオウグソクムシ（新郎）と記念撮影できるフオトスポット他、ジューンブライドに華やぐ「ダイオウグソクムシ・ウェディングドレス」や、擬人（萌えイラスト）化された「グソクちゃん」のイラスト・痛バルーンフィギュアのコーナーが設置され、痛バルーン・また最新の「痛〇〇」の世界観を楽しめます。

今年4月幕張メッセで開催された「ニコニコ超会議 2015」では、人気キャラ「初音ミク」等ボーカロイドの巨大痛バルーンアートを展示。出演者の域を超えて業者としても会場装飾を担当。来場者15万人への露出を果たしネットニュース等にも取りあげられました。その勢いに乗り、ゴールデンウィークには人気急上昇中のゲーム「刀剣乱舞」の応援イベントを開催。ゲームの「聖地巡礼」に訪れたファンは期間中延べ8千人。イベントでは商品として作成した痛バルーンフィギュアにキャラクターのリクエストが殺到。バルーンは飛ぶように売れました。

なぜ、今までの痛〇〇（痛車やフィギュア）等とは違い、最終的にはしぼんでしまうバルーンにお金を払う・価値を見出すのか。そこには最近のオタクユーザー独特の新しいコミュニケーション文化が関係しています。痛バルーンは家族や友人だけではなくSNS等で不特定多数の同ジャンルの人間にシンボルとして発信、共有される傾向があります。自分たちのジャンル・世界で共有し、そこから新たなコミュニケーションが生まれている様子を見ると、ネット社会で人間関係が希薄と揶揄される「ネット世代」ですが、人1倍、人と繋がりたいという気持ちがあるのかもしれない。

その部分にスポットを当て、展覧会では「ウェディング」をテーマに、ニッチ（痛い）のシンボルであるグソクムシ（新郎）の横でグソクムシウェディングドレスを着て写真を撮ることで、2.5次元の結婚式を体験できます。また展覧会では珍しい「写真・SNSへの掲載」を積極的に推奨。展示作品は、来場者によりSNS等仲間内で共有・コミュニケーションが取られることで完成します。来場者にとって2次元・3次元で体験、そして共有が生まれる展覧会となっております。

尚、もも痛バルーンすたじおは翌7月にフランスで開催される「ジャパンエキスポ 2015」にも出展予定です。

■本件に関するお問い合わせ ※リリースのPDFデータ、画像資料等は、オフィシャルサイトからもDL可能です。

もも痛バルーンすたじお

担当 山口祐里佳 080-1464-0621 momogootie@gmail.com

もも痛バルーンすたじお オフィシャルサイト

<http://itaballoon.go1by1.com/>

展覧会 会場 「大阪府立江ノ子島文化芸術創造センター」

〒550-0006 大阪市西区江之子島2丁目1番34号

06-6441-8050 art@enokojima-art.jp 10:00～21:00

HP : www.enokojima-art.jp

遠方からの取材やスケジュール都合によりお越しになれないマスコミ・企業の方、電話取材などで、
 展覧会の画像資料を希望の方は、お気軽にもも痛バルーンすたじお (momogootie@gmail.com) まで連絡下さい。

【「痛〇〇」とは】

漫画・アニメ・ゲームなどに関連するキャラクター等をかたどったステッカーや塗装を行うなどして装飾した「痛車」を筆頭に、
 「痛〇〇」というカテゴリーは、日本発祥のオタク文化（2次元）と密接に結びついた、ジャパンカルチャーの1つです。

【ニコニコ超会議とは】

登録会員数 4000 万人を超える「ニコニコ動画（通称：ニコ動、ニコニコ）」のすべてを地上に再現するニコニコ最大のイベント。
 4月に開催された超会議 2015 では 2 日間でのべ 15 万人が来場。インターネット上で視聴した人の数は 794 万人になりました。

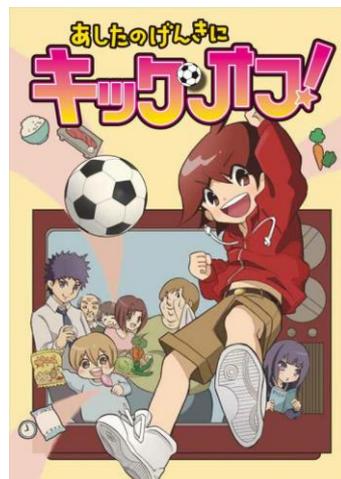


↑ニコニコ超会議 2015 で会場内に展示された「痛バルーンアーチ」。



↑刀剣乱舞応援イベントで販売した痛バルーンフィギュア。

↑作ってみた動画に投稿した痛バルーン（東方キャラ）。



↑（左 2 枚）京都府 健康福祉部医療 生活習慣病予防・検診受診啓発マンガも手掛ける漫画家・イラストレーター小畑亜祐美。
 （右 2 枚）ロリィタ漫画家が描いたダイオオグソクムシの擬人化キャラクター「グソクちゃん」（ラフ案）。

以上